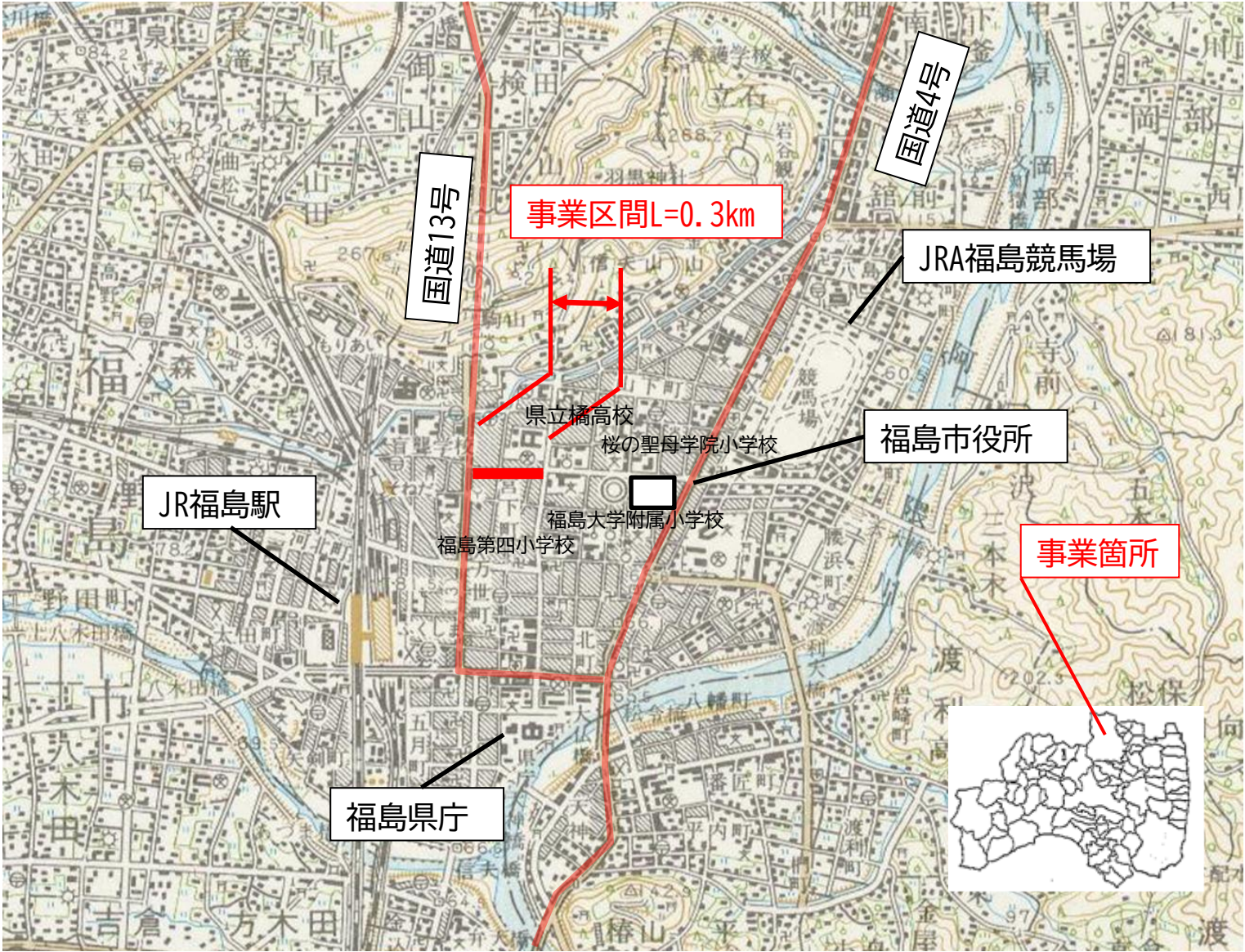


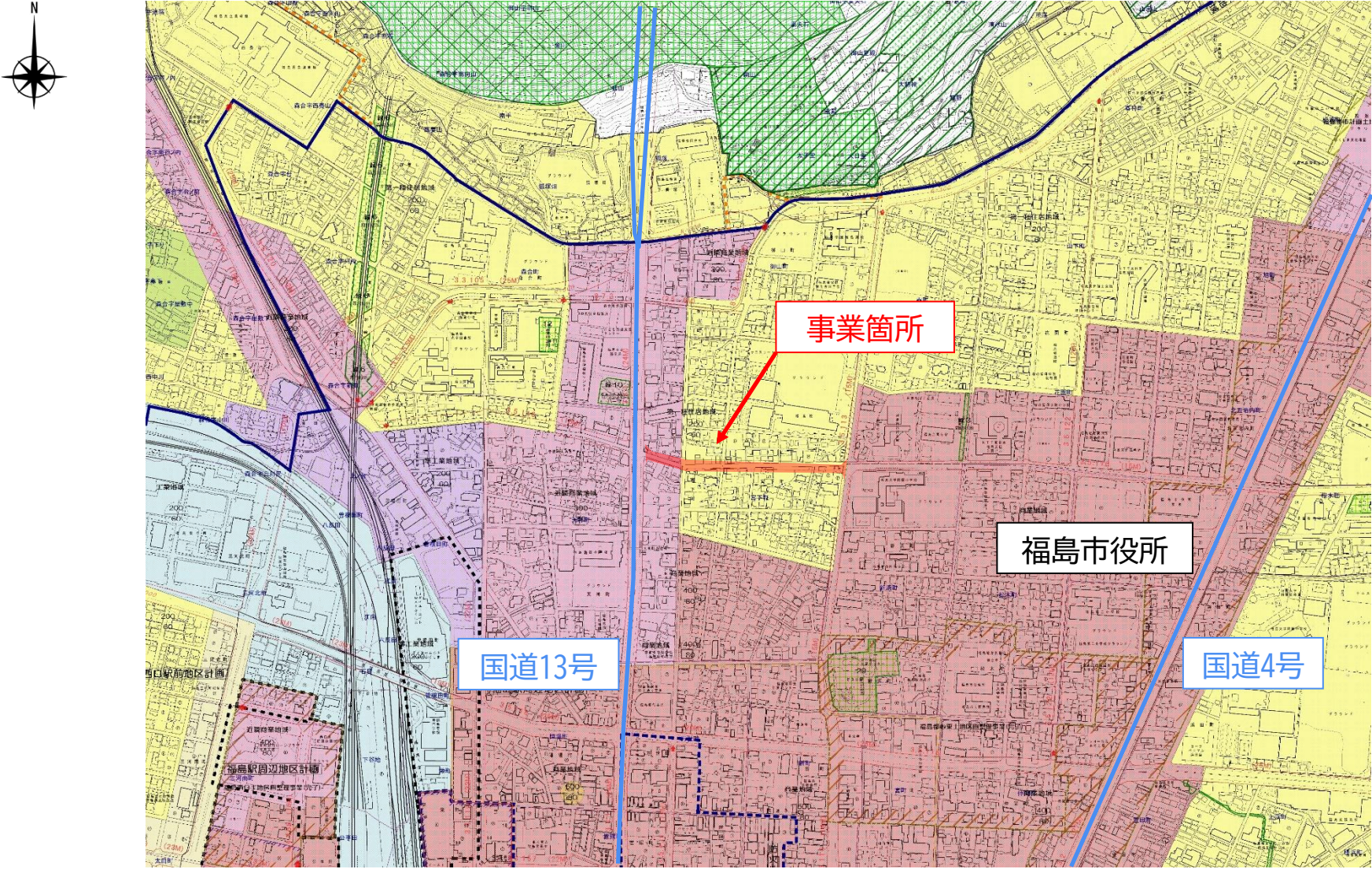
**事業概要**

応募No.	6		
事業主体	福島市	事業箇所	福島県福島市宮下町 外地内
応募者名	福島市建設部道路整備課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろそねだちょうさくらぎちょうせん(みやしたちょうこうく)どうろかいりょうこうじ 都市計画道路曾根田町桜木町線(宮下町工区)道路改良工事		
事業概要 (400字以内)	<p>本路線は、中心市街地における東西軸として重要な路線である。</p> <p>当該区間の近隣には、小学校や高校などの教育施設の他、市役所や合同庁舎が隣接しているが狭隘な一方通行であるため、通勤通学時間帯の慢性的な交通渋滞が発生し、児童・生徒が通うには大変危険な状況であった。</p> <p>このことから、一方通行の解消を図り、付加車線設置による渋滞緩和や歩道・自転車専用通行帯の新設による児童・生徒の安全確保を目的に事業に着手した。</p> <p>しかしながら、事業着手の前年度に東日本大震災が発生し、建物等の被害や原発事故による放射能災害の影響は、本市にも甚大な被害をもたらし、用地交渉にも地価の下落、建物損壊等の補償金算定など困難な状況であったが、粘り強い交渉と権利者や地元の皆様のご理解、ご協力によりこの度供用開始の運びとなった。</p> <p>本事業の完成により、国道4号と国道13号を結ぶ東西軸が対面交通となり道路ネットワークが構築され、中心市街地の渋滞緩和並びに、児童・生徒や高齢者、自転車の安全確保が図られた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.3km	
	幅員(m)	約15.0m	
	事業期間(和暦)	平成24年度～令和6年度	
	事業費(億円)	約12億円	
受賞歴	有・ <b>無</b>		
URL	—		

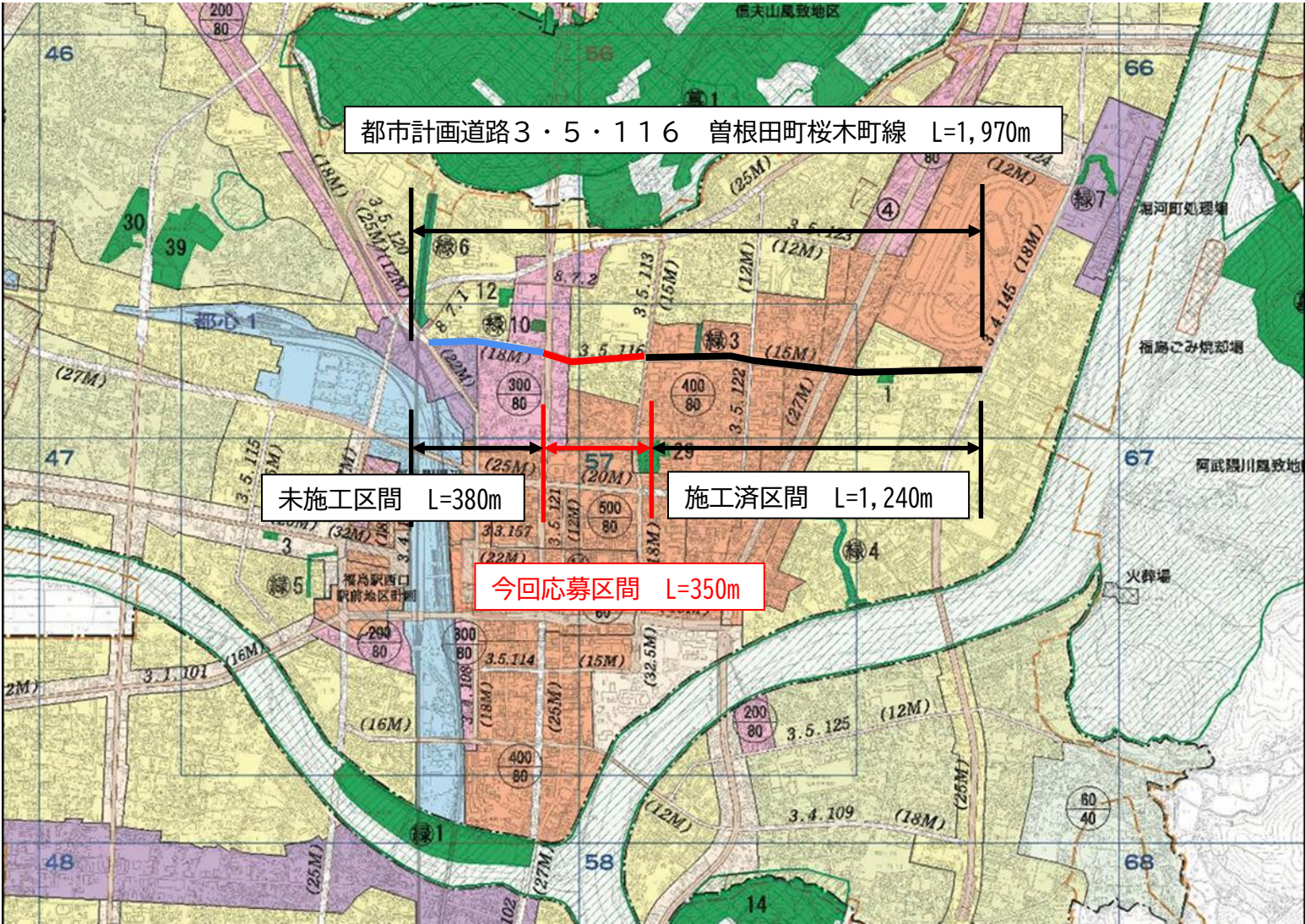
事業位置図



# 都市計画図(用途地域図)

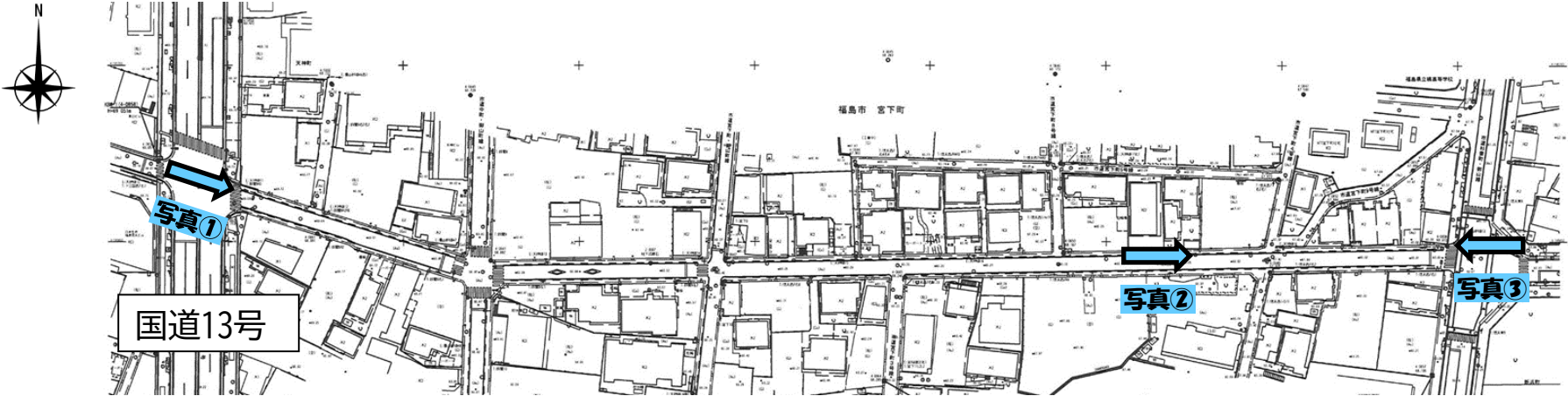


路線全体の進捗状況



平面図

事業前

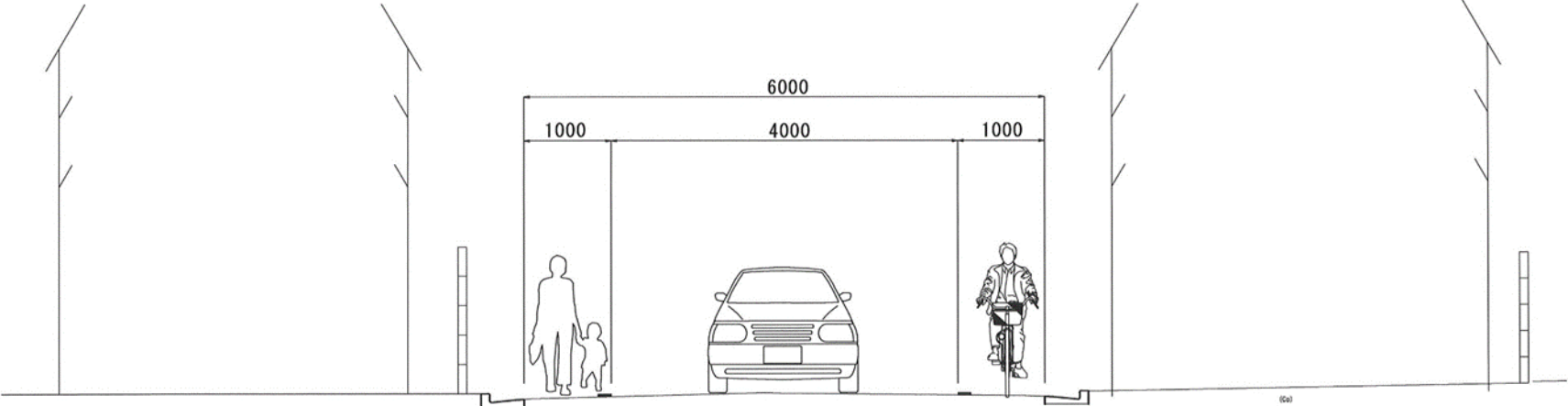


事業後

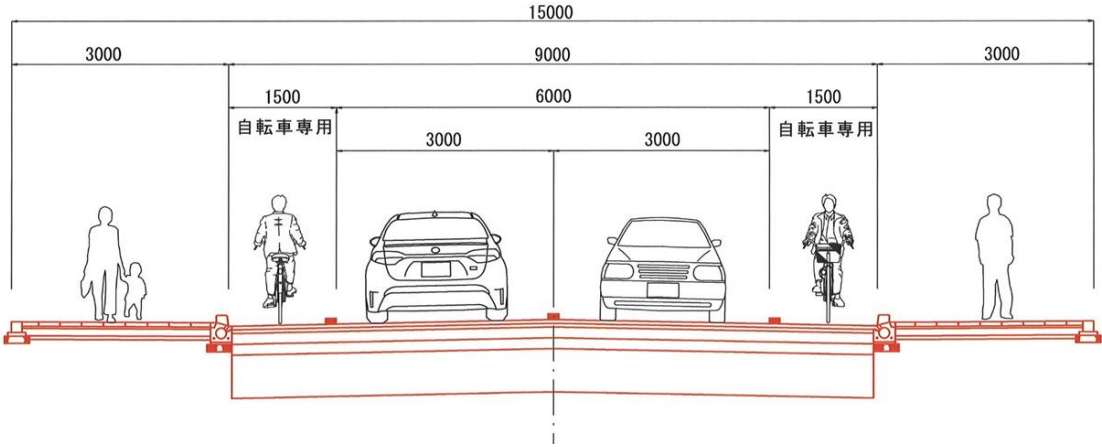


横断図

事業前



事業後



# 事業前写真

# 事業後写真

福島市：（都）曾根田町桜木町線



## 事業効果アピール資料

○通学路安全プログラムによる要対策箇所 ～一方通行の解消と安全な通学路を確保～

- ・一方通行の解消と右折レーンの設置により、通勤時間帯の慢性的な交通渋滞が解消された。
- ・狭隘で歩車分離のない道路に歩道と自転車専用通行帯を設置し、歩行空間の安全が確保された。
- ・自転車専用通行帯を設置し、自転車通行の安全性が向上した。

歩行空間の安全確保



自転車通行の安全確保



交通渋滞の解消



## 苦労や工夫等アピール資料

従来の開通式にとらわれず地元住民、大学生と連携し「開通イベント実行委員会」を立ち上げ、地元で愛される道路となるよう地元町会による太鼓演奏を始め「福島第四小学校」と「福島大学附属小学校」の児童と地元住民で100人テープカットを行い、道路開通の祝い並びに交通安全祈念を行った。

また、開通式を通し次世代を担う子供たちと市民に参加してもらうことで将来にわたり、道路に対する愛着と交通安全の意識を持ち続けることを期待した。

100人テープカットの様子



地元町会の太鼓演奏



福島大学生によるアカペラ演奏



福島わらじ祭りのシンボルでもある「わらじ」形でテープカット



ふくしまわらじ祭り



児童を乗せたメロディーバスによる通り初め



メロディーバスとは福島市出身の作曲家古関裕而氏の楽曲を流しながら市内を巡るバス。開通式の結びに児童を乗せて通り初めを行い交通安全を祈念した。

古関裕而  
のまち 福島市

受賞歴・報道資料

- 新聞掲載：令和7年3月30日（日）  
福島民報新聞「国道4号・13号往来便利に 都市計画道路が開通」
- 新聞掲載：令和7年3月31日（月）  
福島民友新聞「福島の曾根田町桜木町線 宮下町工区が開通」